

ゴマカシはやめて 3.5 カ月分を ボーナスも「リスク」を承知のうえで！

組合員のみなさん！

本部は、年末手当 3.5 カ月分を求めて 10 月 31 日に 1 回目の団体交渉をしました。先に申し入れていた要求に対する会社の見解は「業績や今後の見通しが堅調であるとはいえ、慎重に判断する必要があると考えている」でした。

そして、見解の前提となる日本経済について、以下のような説明がありました。

『 対外経済環境をめぐる不確実性は高く、世界景気のさらなる下ブレや金融資本市場の変動等が、わが国の景気を下押しする リスク となっており… 』と。

言葉じり で言うつもりはありませんが、冗談じゃない！ と思いませんか？

昨年 5 月に葛西会長は新聞で、リスク についてその自論を展開しました。

葛西会長 曰く、「リスク を承知のうえで、それを克服・制御する国民的な覚悟が必要である。国はそれを正面から問うべきだった。しかしながら見たくない現実には目をつむり、考えたくない困難には心を閉ざす敗戦後の日本の弊風の中でリスクは出来るだけ当事者の腹中に収め、必要性和利用価値のみをアピールする形でしか進め得なかった。今回の災害がもたらした原発危機の淵源はここに発する」と。

その自論を今、そのままお返ししようではないですか。

会社の「見解」の ゴマカシを葛西会長をして、見事に証明しているではありませんか。J R 東海経営者として「リスク」を都合の良いように使い分けているだけです。葛西会長は原発事故後、「リスク を承知していなかった」と国の対応と国民の声を全面的に非難しました。大きな声で言おう！ 現実には目をつむらず、ゴマカシで、考えたくない 困難にも心を閉ざさず「リスク」を承知のうえで J R 東海経営者は社員の声に応えろ！ と。一方的な休日出勤のなか年休も取れずに苦勞し、日夜にわたる安全・安定輸送のための、社員の努力に応えろ！ と言おう！

組合員のみなさん！ 国労・ユニオン組合員のみなさん！

各組合の要求額は少し違いますが、労働組合として当然の要求です。4 年連続で給料のベースアップがゼロでした。ボーナスは満額！ と、共に声を出しましょう。